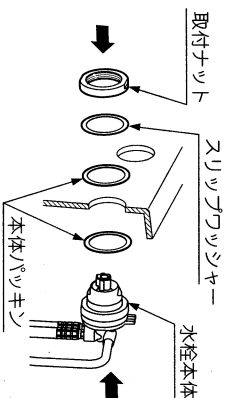


2. 施工方法

1 水栓本体の取付け

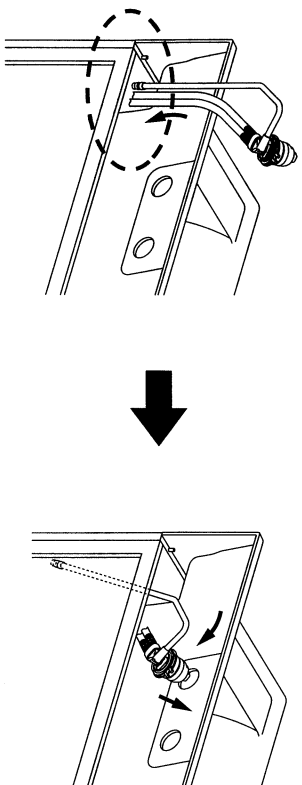
1. カウンター裏面より水栓本体を挿入する。

注意
銅管が洗面化粧台と干渉しないようにしてください。

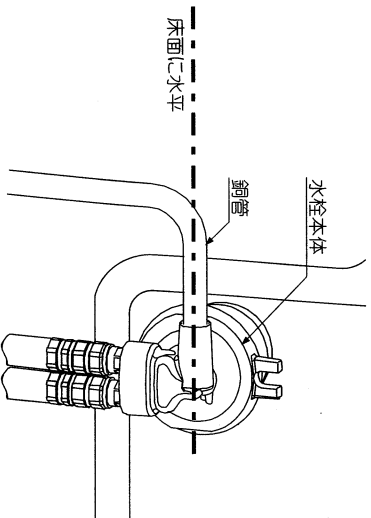


ポイント

カウンター左側に吐出管と給水・給湯ホースを入れ、本体を回転させながら取付穴に挿入する。

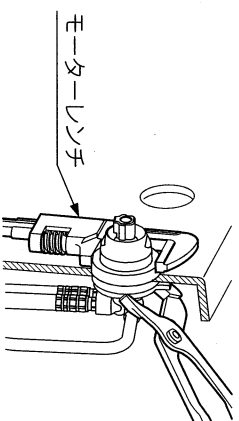


2. 銅管が床面と水平になるように、水栓本体を位置決める。



3. 取付ナットを締め、水栓本体を固定する。

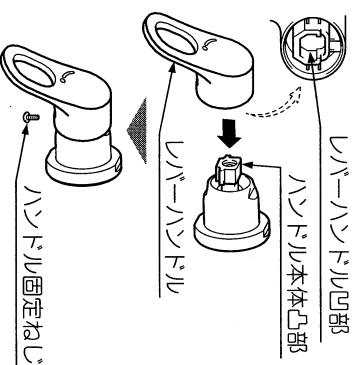
注意
●取付ナットを締める時、ボウルを工具で傷つけないようにしてください。
※破損の原因となります。
●モーターレンチは取付ナットの工具かけ部分以外には使わないでください。
※破損の原因となります。



確認
●取付後、本体部が回転しないこと。
●まっすぐに取り付けていること。

4. レバーハンドルをハンドル本体凸部に取付け、レバーハンドル下側からハンドル固定ねじで締め付ける。

注意
●ハンドル固定ねじを紛失しないように注意してください。
※レバーハンドルが固定できず、破損の原因となります。
●インパクトドライバは使用しないでください。
※破損の原因となります。



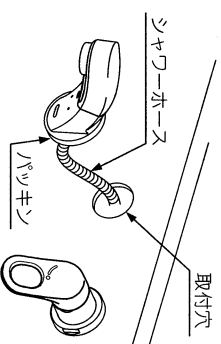
確認
●レバーハンドルを操作し、確実に取り付けていること。

ポイント
ハンドル固定ねじを締め付ける際は、レバーハンドルを左側に回転させる。

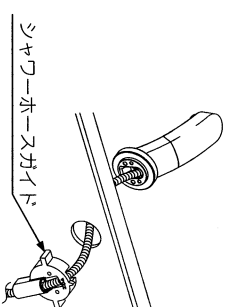
2 吐水口の取付け

1. シャワーホースの先端を取付穴に挿入する。

注意
パッキンのはみ出しに注意してください。



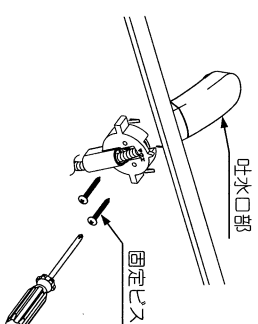
2. シャワーホースの先端をシャワーホースガイドに通す。



3. 洗面化粧台裏面から、吐水口が必ず水平になるようにしっかり固定する。

ポイント

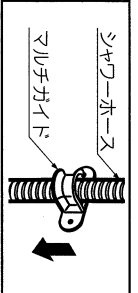
●吐水口本体部の突起と、カウンター側のガイドとの隙間が、両側で同じになるように位置決める。
●1本目のねじを仮止めた状態で、位置調整を行い、2本目のねじで締め付ける。



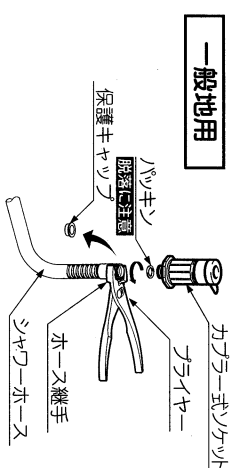
確認
●取付後、吐水口が回転しないこと。

3 シャワーホースの接続

1. 洗面化粧台にマルチガイドが付属の場合は、シャワーホースをマルチガイドに通す。

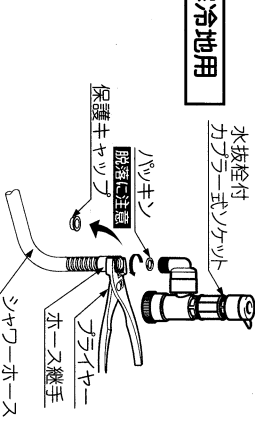


2. シャワーホースの保護キャップを外し、カララー式ソケットをシャワーホースと接続する。



注意

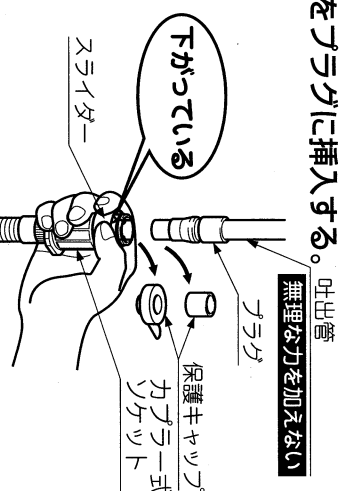
●ホース継手内にパッキンが入っていることを確認してください。
※入っていないと漏水の原因となります。
●カララー式ソケットに工具をかけないでください。
※破損の原因となります。



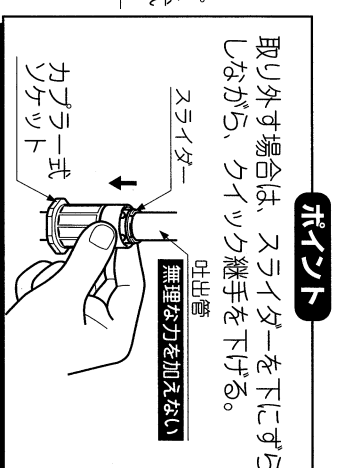
ポイント

手締め後、フライヤーで半回転～3/4回転増し締めする。
(参考トルク：2～3N・m)
※強く締め付けすぎると樹脂部品が破損する恐れがあります。

3. 吐出管の保護キャップと、カララー式ソケットの保護キャップを外し、カララー式ソケットのスライダーが下がっていることを確認して、クイック継手をブラグに挿入する。



無理な力を加えない

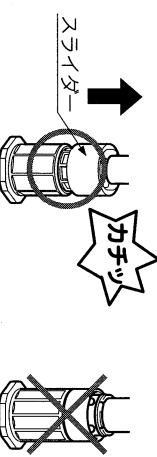


ポイント

取り外す場合は、スライダーを下にずらしながら、クイック継手を下げる。

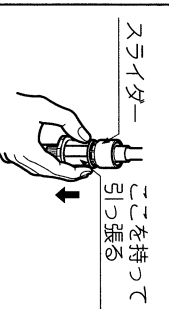
注意

●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
●スライダーが上がっていることを確認してください。



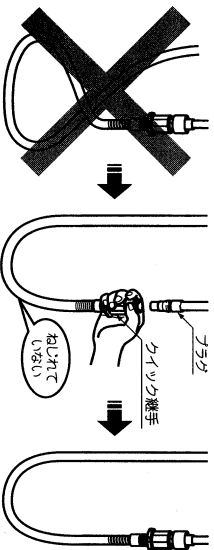
確認

カララー式ソケットのスライダーより下の部分を引っ張って、抜けないこと。



注意

●シャワーホースがねじれないように、接続してください。
ねじれる場合は、ブラグからクイック継手を取り外し、シャワーホースの
ねじれを取り除いてから、再度ブラグに取り付けてください。

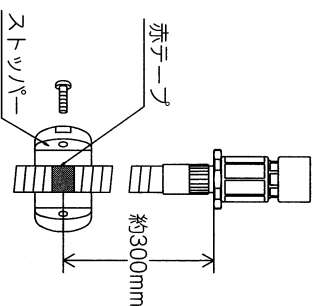


※シャワーホースがねじれていると、ハンドシャワーの引出しが重くなる恐れがあります。

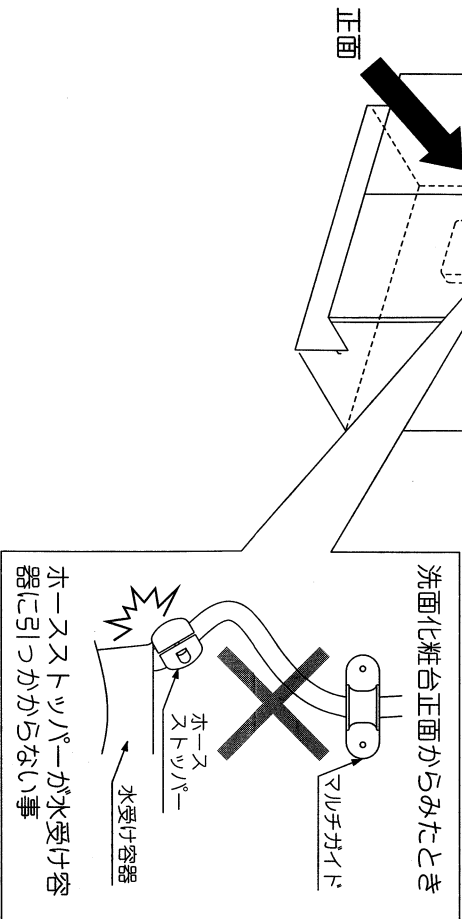
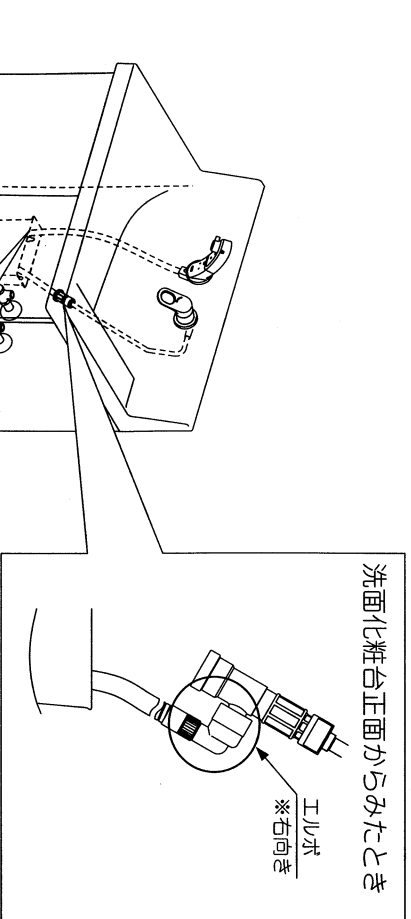
4. シャワーホースの赤いテープの位置に、ストッパーを固定する。

ポイント

ハンドシャワーをいっぱいまで引き出したときに、止水栓などが引っぱられる場合は、ストッパーの位置を調整する。
引出し長さの目安は、約370mm。



寒冷地用は、エルボが必ず右向きになるように取り付け。

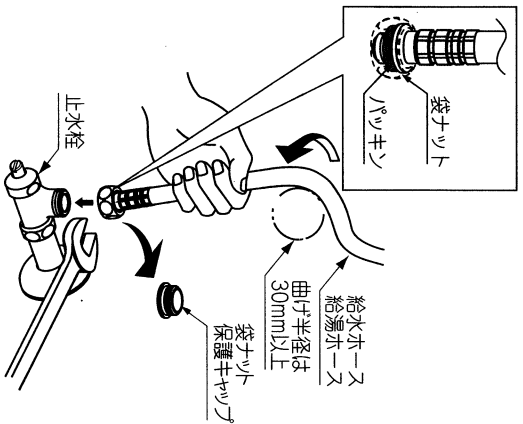


●シャワーホース接続後、ハンドシャワーを数回出し入れし、ホースストッパーがトレイに引っかかるように調整すること。

4 給水・給湯ホースの取付け

1. 洗面化粧台の取付説明書に従い、キャビネットを壁にビス固定し、止水栓・トラップを取り付ける。

2. 給水・給湯ホースのキャップを外した後、給水・給湯ホースを手で持ちながら、ホースの袋ナットを止水栓にスリパ (対辺23) 等で接続する。



注意

●袋ナットにパッキン (黒色) が入っていることを必ず確認してから接続してください。
※パッキンが入っていないと漏水します。
●パッキンの表面にゴミがついていないか確認してから接続してください。
※パッキンの表面にゴミが付いていると、漏水する恐れがあります。
●袋ナットは緩みがないようにしっかりと締め付けてください。ただし、強く締め付けすぎて給水・給湯ホースがねじれないようにしてください。
(締め付トルクの目安: 約2000N・cm)
※袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり漏水する恐れがあります。また締め付けすぎるとホースがねじれて損傷し漏水する恐れがあります。

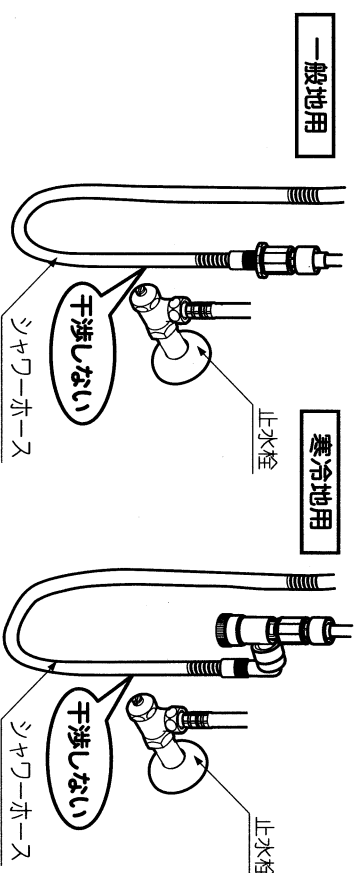
3. 施工後の調節

洗面化粧台の取付完了後、以下の手順の通り、正しく調節してください。

1 ハンドシャワーの引出し確認・調節

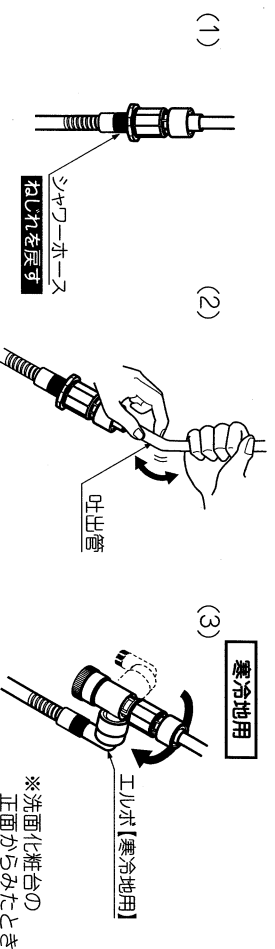
ハンドシャワーを引き出したときの確認・調節を、以下の要領で行ってください。

1. ハンドシャワーをホースストッパーがアルチガイドにぶつかるまで完全に引き出し、シャワースタンドに収納する動作を数回繰り返し、シャワーホースが止水栓に干渉しないか、水受け容器付きの場合は水受け容器に収まるか確認する。



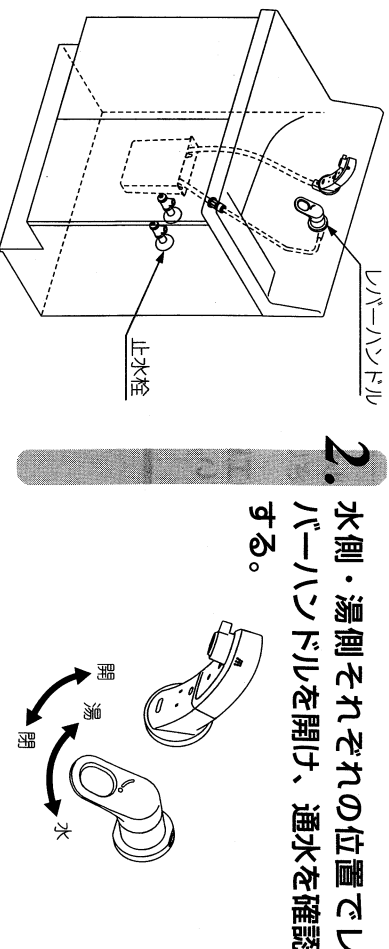
2. 止水栓に干渉したり、水受け容器に収まりにくい場合は、次のように調節する。

(1) シャワーホースのねじれを戻す。(方法は③シャワーホースの接続「3.」の**注意**を参照ください。)
(2) 吐出管の角度を調節する。
(3) 寒冷地用の場合は、エルボの向きが右向きになっているか確認する。

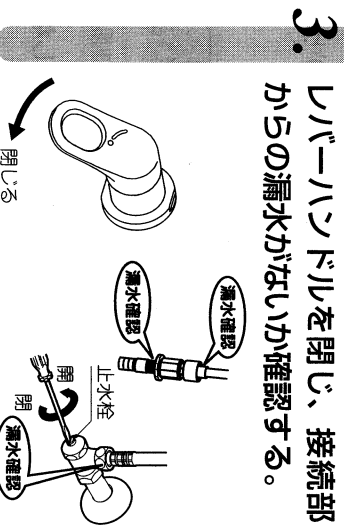
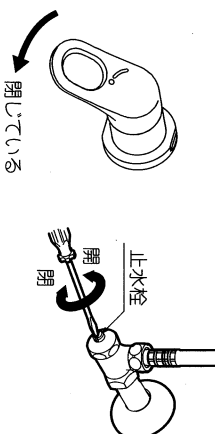


2 通水確認

通水確認を、以下の要領で行ってください。



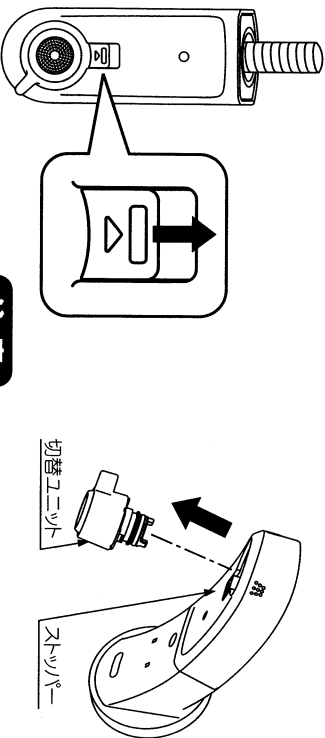
1. レバーハンドルが閉じていることを確認し、給水・給湯の止水栓を開く。



3 ストリーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くために、切替ユニットのストリーナーの掃除を、以下の要領で行ってください。

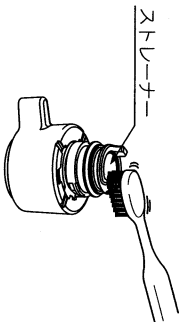
1. ハンドシャワーの裏側にあるストッパーの穴に、指もしくはドライバーを入れてストッパーをスライドした後、切替ユニットをまっすぐ下に引っ張り外す。



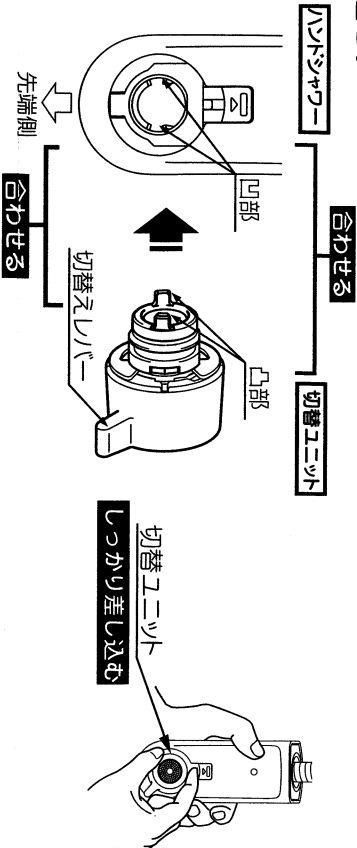
注意

- ドライバーを使用する際はハンドシャワーにキズがつかないよう、必ず布を当ててください。
- ※ハンドシャワーにキズがつき、ケガをする恐れがあります。
- 切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。
- ※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。

2. 切替ユニットのストリーナーの掃除をする。



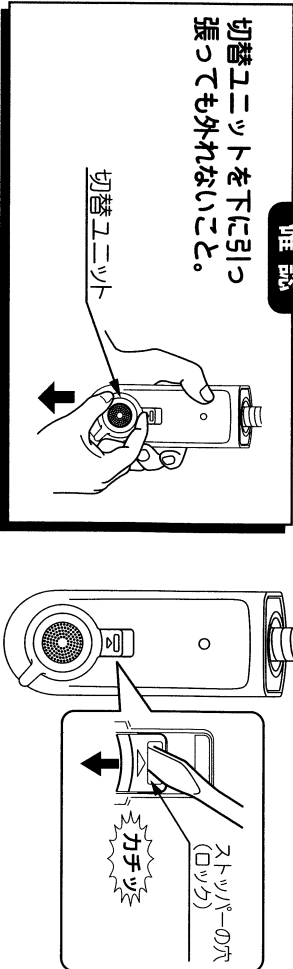
3. 切替ユニットの向きに注意しながら組み付け、切替ユニットをしっかりと押し込む。



4. ストッパーをロックする。

確認

切替ユニットを下に引っ張っても外れないこと。



4 流量の調節

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/minを超える場合は、止水栓で流量を調節をしてください。

注意

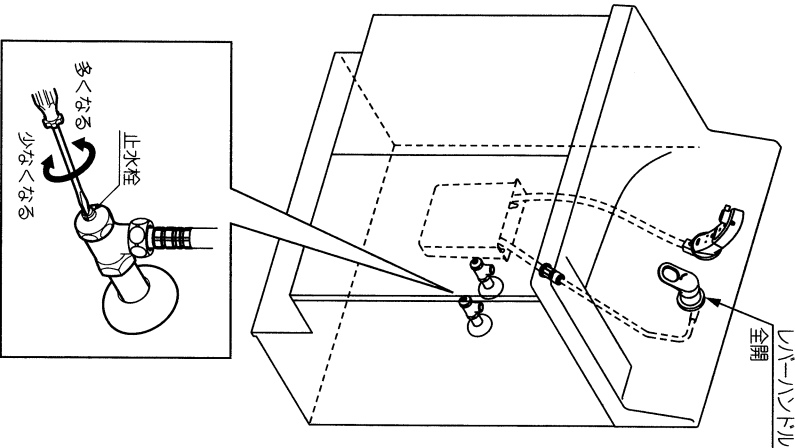
- 必ず流量調節をしてください。
- ※水はねやオーバーフローにより家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

確認

- 水側・湯側それぞれの確認後、レバーハンドルが、斜め下の位置でも吐出し、水はねやオーバーフローが問題ないこと。

ポイント

- 8L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約25秒。
- 湯と水の流量が同じくらいになるように、止水栓で調節する。



4. 引渡し前の確認

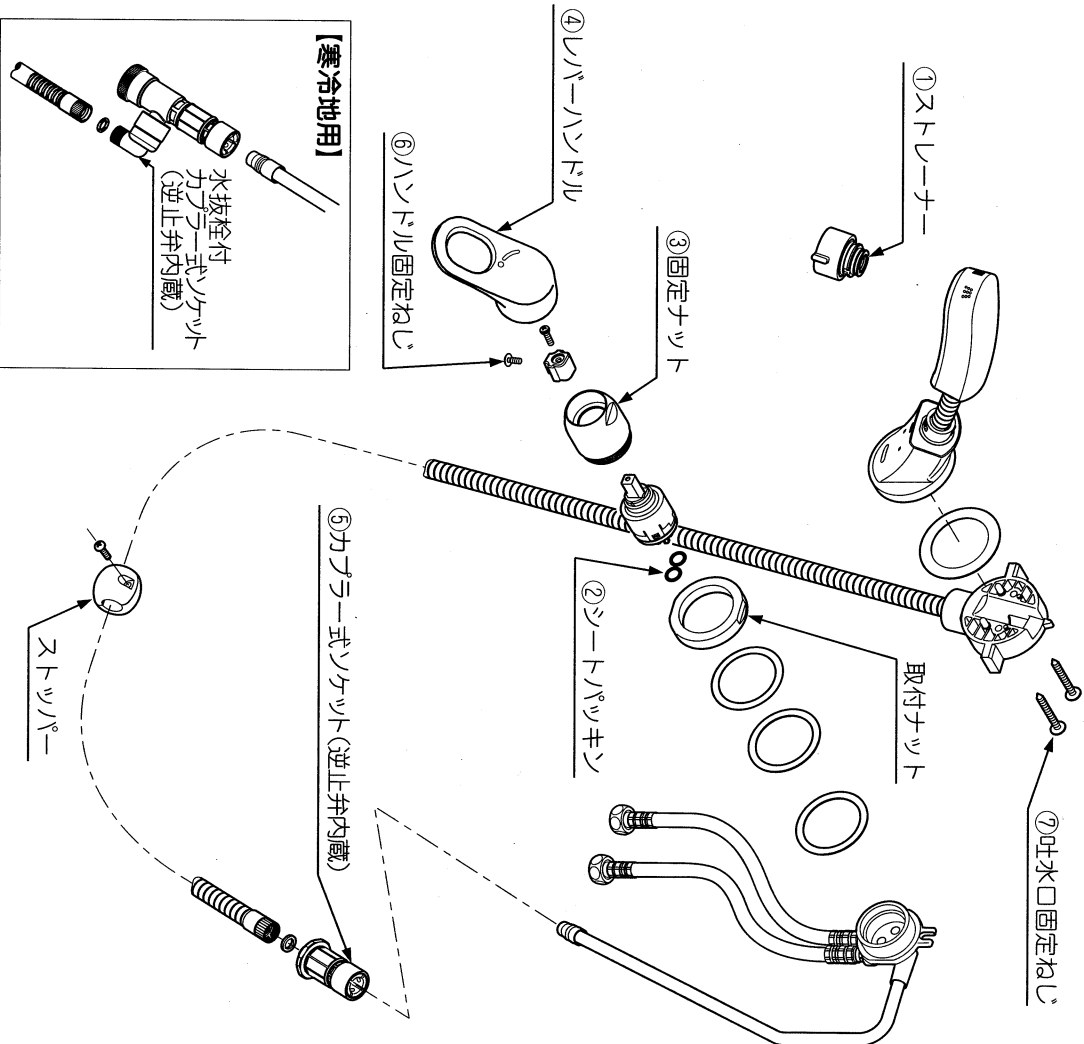
お客様に引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。
※点検箇所は、下図を参照して下さい。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？	—	「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？	—	抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？	①	止水栓を十分開く。
	ストリーナーにゴミ詰まりはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	固定ナットで締める。
ハンドルが右側に回らない	ハンドルの操作位置は正しいか？	④	ハンドルキヤップを確認する。エコハンドルはレバー操作範囲が従来のシンガラレバーと異なります。(施工完了図参照)
希望の温度が得られない	ハンドルの操作位置は正しいか？	④	ハンドルキヤップを確認する。エコハンドルはレバー操作範囲が従来のシンガラレバーと異なります。(施工完了図参照)
	圧力は十分か？	—	「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
	流量調整はよいか？	—	「流量の調節」の項参照。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？ (ゴミ、砂かみはないか？) (Oリングにキズはないか？)	⑤	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交換する。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑥	ハンドル固定ねじをしっかりと締める。
吐水口がガタつく	ゆるみはないか？	⑦	吐水口固定ねじをしっかりと締める。

ポイント

故障ではありません

- この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーハンドルを急に下げると抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが、故障ではありません。
- 水を止めた後に少しの間水が垂れますが、切替ユニット内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。



※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。